

厚別区には「ひばりが丘」「下野幌」「もみじ台」の市営住宅大規模団地が造成されており、街並みの大きな特徴になっています。区全体で二百八十五棟、管理戸数は九千九百二十八戸になり、これは全市の市営住宅の約四十分の一に当たります。このうち最も早く建設されたのは「ひばりが丘団地」で昭和三十四年に建設が始まりました。名称のひばりが丘は、市民公募により名付けられました。

また、最も戸数が多いのは、昭和四十四年から整備が始まった「もみじ台団地」(五千五百三十戸)で、全市でも最大規模になります。春のひばり、夏の青葉町に続いて秋にちなんで名付けられた「もみじ台団地」では、ショッピングや公共サービス機能を中心地に置き、清掃工場の廃熱を利用した地域熱供給方式を採用するなど、当時の最先端の街づくりの設計でした。

その後、老朽化に伴い「ひばりが丘団地」の建て替えが行われ、続いて現在、「下野幌団地」が平成二十五年度の完工を目指して工事中です。新築住宅では、高齢や障がいのある方が安心して住めるよう、手すりの設置や段差解消、エレベーター設置などのバリア

フリー化が導入されます。また、地域の居住環境の向上とまちづくりに貢献するため、入居者の世帯構成が片寄らない間取りの工夫や除雪しやすい歩道の整備、緑地の充実、高層化による避難場所用地の確保などが取り入れられます。建て替えられた住宅から順に名称も「青葉団地」に変更しており、新たな街並みの形成に向けて工事が進められます。(数値はいずれも平成十六年四月現在)



副都心周辺に広がる下野幌団地は、順次建て替えを行い、青葉団地として生まれ変わります。(左手奥は、ひばりが丘団地)

## 区役所掲示板

### 区民センター・地区センターを

使いやすくしていきます

札幌市では、区民センター・地区センターをより市民の方が利用しやすい施設にするための試験的な取り組みを行います。

厚別区では、次のモデル事業を実施します。

- ①厚別区民センターの、利用時間の延長と利用条件の緩和(詳細は、本誌8ページの市政ホットニュースをご覧ください)。
- ②厚別南地区センターの申し込みをセンターの窓口以外でも受付。

### 厚別南地区センター

#### モデル事業の内容

■インターネットで空き室状況の確認、申し込みができます

厚別区のホームページ「あつべっつく」から空き室状況の確認ができ、専用入力フォームから申し込みをすることもできます。利用の適否について地区センターで審査を行い、Eメールで返信します。

※ホームページ「あつべっつく」  
http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/

■電話・ファクスでも申し込みができます

電話・ファクスによる申し込みもできます。受付は、札幌市コールセンターで行います。ファクスの場合は、利用の適否について地区センターで審査を行いファクスで返信します。

#### ①電話申込

受付時間 午前8時～午後9時  
☎(22) 4 8 9 4

#### ②ファクス申込

専用申込用紙に必要事項を記入し、送付してください(専用申込用紙配布場所||厚別区役所、厚別区民センター、区内の各地区センター・各まちづくりセンター)。  
☎(22) 4 8 9 4

#### ■モデル事業実施期間

平成16年8月1日～  
平成17年3月31日

#### ■お問い合わせ

地域振興課地域活動係  
☎(95) 2 4 0 0 内線505